

「士会マネジメントのQ&A」について

- 全国1700の市町村へ作業療法を届けるための「地域支援事業への作業療法士参画を推進するための具体策集」の第1弾
- これまでのアンケート結果や地域事業支援会議のグループワークで出されたよくある質問から検索できます。
 - 回答は ・協会の推奨する考え方や方針 ・地域包括ケアシステム参画の手引き第2版
 - ・各都道府県士会での実践事例や資料 等を参考に提示
- 提示内容は、主な活動に共通する事項のため、士会での実動では必要に応じてブロック機能を活用し、さらに詳細な情報を補って、士会及び市町村の実情に即した方法をご検討ください。
- ブロック内の連絡・連携は、各士会の選任者の皆様のご協力をお願いいたします。

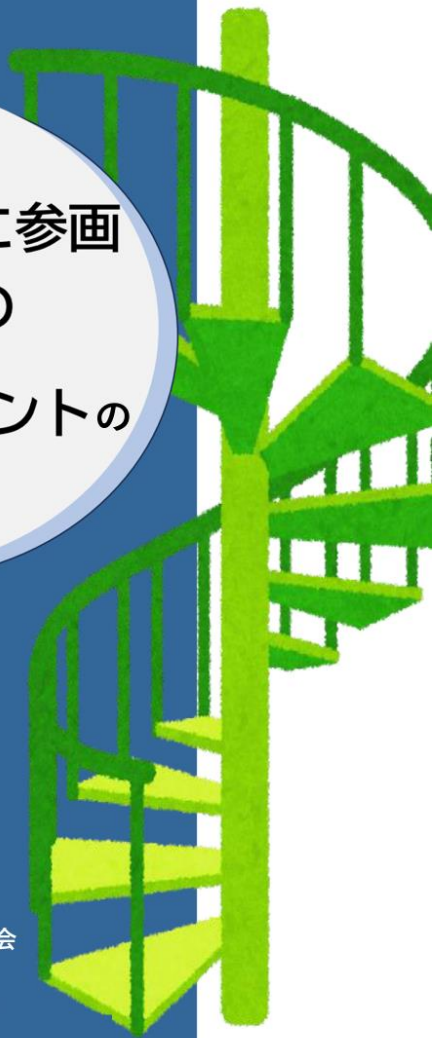
地域支援事業参画のための士会マネジメント事業

地域支援事業へ作業療法士が参画するための士会での取り組みについて、各士会の状況に応じて活用できる具体策・事例を課題別に段階付けて提示

- R5 ●市町村配置についての対応
●地域・士会・派遣体制などの状況把握
●行政・多職種・多機関との連動

- R6 ●大都市での担当者配置や派遣に関する対応
●士会での派遣者支援
●勤務先への対応や派遣形態と報酬に関する対応

- R7 ●各地域支援事業への関与の状況と対応策
●人材育成に関する具体策



地域支援事業に参画
するための
士会マネジメントの
Q&A

一般社団法人 日本作業療法士協会

地域社会振興部 地域事業支援課

地域包括ケア推進班

士会マネジメント事業 令和6年7月

士会マネジメントのQ&A

①市町村担当者配置状況の把握

- Q1. 市町村担当者配置の目的・具体的な役割は何ですか？
- Q2. 市町村担当者配置の方法はどのようなものがありますか？

②地域性

- Q3. 過疎地、就労しているOTがない地域にはどのように配置すればよいですか？
- Q4. 市町村担当者を配置したが、市町村から声がかからない。どうすればいいですか？

③士会体制

- Q5. 士会内の人材確保をどのように進めればいいのでしょうか？

④多機関との連動

- Q6. 士会以外の団体(POS・3士会・リハ協議会、広域支援センターなど)が地域支援事業の窓口になっている場合、士会独自での市町村担当者の配置は必要ですか？
- Q7. OTの専門性に対して依頼が来るようにするには、どのような取り組みをすれば良いですか？
- Q8. 多職種(ケアマネ、歯科衛生士、栄養士、保健師など)との連携はどのように進めるとよいですか？

Q1. 市町村担当者配置の目的・具体的な役割は何ですか？

A. 作業療法のちからで地域・住民の健康と自立支援に寄与することです。地域での困りごと(OTニーズ)を担当者が吸い上げて、士会関係各所に振り分け、対応に当たるのが最終的なゴールです。

大事な視点

市町村担当者の役割の基本と段階付け

- A: 市町村の担当職員と面識を持つ
- B: 市町村の地域事業の状況把握、士会での共有
 - ・各事業の実施状況
 - ・作業療法士の参画状況
- C: 依頼に応じた地域支援事業へ参加または人員調整
- D: 継続的な地域支援事業への参画または人員調整
- E: 担当地域の多職種のネットワークへの参画または人員調整
- F: 担当地域の政策形成への参画または人員調整

段階1 士会の実状を踏まえ、実施可能な役割内容を検討しましょう。

- ・ まずは士会の実状を把握しましょう ⇒ 詳細はこちら(士会の状況把握)
- ・ A～Fのどこから取り組めるか、具体的な活動内容を段階付けて計画します
- ・ 士会事業として取り組み、会員の協力を得て活動しましょう ⇒ 詳細はこちら(参画方法の検討、士会内啓発)

段階2 対応可能なところから取り組みましょう。

- A: 市町村の担当者との面識を持つ
関係性の始まりとなる活動として重要です。 ⇒ 詳細はこちら(市町村との面識)
- B: 市町村の地域事業の状況把握、士会での共有
士会体制、活動内容など取り組み検討の根拠となり、共有する事が重要です。
- ※C以降は準備中です… ⇒ 詳細はこちら(地域の状況把握)

事例をみてる

- 実際に士会で取り決めている役割内容の例
- 北海道士会、新潟県士会の取り組み (R4.10.30人材育成研修会 資料)
- 兵庫県士会、茨城県士会、山形県士会の取り組み (R6.3.3地域事業支援会議 資料)

士会体制(士会の状況把握)

Q1-段階1 士会の実状を踏まえ、実施可能な役割内容を検討しましょう。まずは士会の実状を把握しましょう。

Q2-段階1 士会の状況把握
士会の地域支援事業への取り組み、リハ専門職協会や支援センターとの連携状況、対応可能な人材の状況について把握します。

Q5-段階1 士会の状況把握
派遣体制、人材、情報管理などについて、士会の状況を把握しましょう。

士会の状況把握

- 派遣体制
 - ・ 士会の窓口担当者や調整担当者
 - ・ リハ専門職協会や支援センターとの連携状況
- 人材と活動内容
 - ・ 参画している会員と市町村名、活動内容、事業における役割
 - ・ 対応可能な人材
 - ・ 士会での地域支援事業への取り組み
- 情報管理
 - ・ 士会内にある地域支援事業の参加者のデータの一元化を図りましょう(事務局やブロック)
 - ・ データの情報漏洩に注意してください。データの統合作業は、士会の事務局を中心に行う得られると安心です。
 - ・ 一元化した情報の中に特定の情報がない市町村があるかもしれません。その市町村に所属地域包括支援センターなどに確認してみてください。
 - ・ 面識のない市町村や地域包括支援センターに問い合わせる時は、できればいきなり情報提供は士会の役職者と一緒に関わり合いをしてから、情報提供をお願いすることをお勧めします。支援事業への参画にも役立ちます。⇒ 詳細はこちら(市町村との面識)
- 情報収集を効率的に行う方法を検討しましょう。
 - ・ 会員向けのアンケートや報告書の作成では、精度、回収率を上げるため、情報収集の目的にし、回答の予想が立てられる場合は選択肢を用意しましょう。
 - ・ Googleフォーム、LINE、メールリスト等の活用も回答・集約ともに負担軽減になり、結果を士会員に情報提供し、共有しましょう。

事例データ



具体策の詳細のページ

市町村への対応(市町村との面識・専門性の提示)

Q1-段階2 対応可能なところから取り組みましょう。

A: 市町村の担当者との面識を持つ
関係性の始まりとなる活動として重要です。

Q4-段階3 市町村の担当者に士会で対応可能な内容を伝えましょう。

・ 市町村の事業の担当課に連絡を取り、時間を取ってお話を聞いていただく機会を設定しましょう。地域ケア会議等で市町村事業の行政担当者の紹介を受けることもよいでしょう。

・ 会長や理事にも協力を得ましょう。

Q7-2、行政側からリハ職を一括りにされてしまう場合

OTの専門性に対して依頼が来るような取り組みをしてみましょう

- A) 団体や行政に対し、地域支援におけるPOSの視点の違いや、士会として対応可能な事業内容を提示し参画が必要な事業へつなぐ
- B) 保健所(行政)勤務のOTと繋がり、地域課題に向けてOTができる事をアピールする、など

市町村との面識・専門性の提示

- 担当者が直接電話して、介入しているOTはいないか確認することも最初の接点としてよいでしょう。
- これまで関わりがなかった市町村には、会長、理事とともに挨拶に行きましょう。まずは会長から担当課の課長にアポイントを取ってもらいましょう。
- 作業療法士は地域支援事業で何が出来るか、実際に士会ではどんな対応ができるか、依頼窓口はだれか、などをリーフレットなどで示しましょう。
- 市町村の事業計画を広報誌やHPなどで確認し、事業内容に関して、また地域住民の方の幸せな生活の実現に向けて、OTは何ができるかを具体的に伝えましょう。 ⇒ 参考資料はこちら(リーフレット)
- 自立支援型地域ケア会議や地域支援事業に参加していれば、そういった事業を通じて、行政担当者の紹介を受け、連絡を取り、時間を取ってお話を聞いていただく機会を設定しましょう。できれば会長や理事にも同席していただきます。

今後も情報収集へのご協力を お願いいたします

- お忙しい中、いつも情報提供頂きありがとうございます。
- 今後も、地域支援事業に関する士会活動のマネジメントについて、考え方や具体的な方法、実際の活動例を、全国で活動されている会員の皆様からの情報をもとに提示してまいります。
 - *調査事業と協力しアンケートを実施します。
 - *士会選任者の皆さんと士会長との進捗状況の共有の場を設定します。
- 皆様の日々の活動の成果を共有させていただき、さらに各士会活動の推進につなげていけるよう、情報の提供、共有のための協会の活動にご協力をお願いいたします。